

平成 28 年度熱海高等学校「学校関係者評価」

	取組目標 (ゴシック体は重点目標)	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	日々の生徒との関わりを大切にして、生活や学習のリズムを確立させる。	1日の欠席9人・遅刻2人・早退0.5人未満	C	C	・マンネリ化の防止、家庭との連携、早目の指導を図ってほしい。
		昇降口・伊豆多賀駅における声掛け チケット年間 300枚以下	B	B	・チケット制は大変効果があると聞いているので目標達成に向けて努力してほしい。
イ	思考力・判断力・表現力を高め、知的好奇心を喚起する授業を実践する。 基礎力を培う観点から、基盤となる基礎知識、表現力、創造力等の向上を図り、丁寧で分かりやすい授業を行う。	教員の公開授業への参加率年2回100%	A	A	
		全教員による公開研究授業年2回実施 授業評価「授業が分かる生徒」80%以上	A	A	
		家庭学習時間1時間以上60%以上	C	C	・30分でもよしとして習慣性を身に付ける指導をお願いする。 ・学習アプリの利用による改善を期待する。
ウ	生徒のキャリア形成のための進路指導を充実させ、進学先、就職先の開拓を行う。 地元企業や大学、専門学校等との連携によりインターンシップ等の進路行事を充実させ、正しい職業観・勤労観の育成を図る。	進路通信を月2回以上発行	B	B	
		進路意識の向上を意図した行事を学期1回以上開催	A	A	
		保育・介護体験実習及び類型実習の参加率100%、インターンシップの参加率40%	A	A	・インターンシップへの参加率の向上を期待する。

	取組目標 (ゴシック体は重点目標)	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
エ	規範意識の向上を図り、集団生活において自他を尊重する態度を養う。 達成感、自己肯定感を育むため、部活動や生徒会活動の充実を図る。	生徒指導件数年 20 件以下	B	B	
		学校行事に対する生徒満足度 80%以上	A	A	
		2、3年生の部活動加入率 70%	C	C	・目標設定を工夫したい。 ・昨年度より改善している。 ・部活動加入率の低下は多様化した校外活動も含めて全国的な風潮であると聞く。
		部活動満足度 80%以上	C	C	・指導者研修会の開催を検討したい。 ・満足度は部活動への加入率につながっているのではないか。
		小、中学校との合同活動学期 1 回以上	A	A	・メディア等にも積極的に取り上げられ相乗効果になっている。
オ	読書習慣の定着と読書量の増大及び質の改善に努める。	図書館だよりを 2 か月に 1 回以上発行	C	C	・生徒が作成する環境を踏まえて目標値を設定する。
		各授業における図書室利用年 2 回	B	B	
		朝読書毎日実施	A	A	
カ	生徒が心身ともに安心して快適に過ごせるよう健康管理に気を付けさせるとともに、校内環境を整備する。	保健だよりを月 1 回以上発行	A	A	
		朝食摂取率 85%以上	B	B	
		心理アドバイザーの相談日月 1 回	A	A	

	取組目標 (ゴシック体は重点目標)	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
キ	生徒の危機管理能力を高めるとともに地域貢献活動を行い、奉仕の精神を育てる。	通学路清掃を学期1回年2回以上	A	A	
		地域防災訓練への参加率60%以上	B	B	
ク	広報活動を充実させ、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりに努める。 地域に根ざした学校を目指し、地域や外郭団体との連携を深め、新しい学校づくりを推進する。	中学校訪問2か月に1回	A	A	
		「学年だより」月1回発行	C	C	・学校新聞との兼ね合いで無理をしなくてもよいのではないか。 ・特に問題がなければ目標値を下げてよいのではないか。
		「学校新聞」年6回発行	A	A	
		ホームページ週1回更新	B	B	・非常に効果的な広報手段になり得る。
		P T A 総会参加率50%以上、支部会参加率70%以上	B	B	
		県教委、熱海市、市教委 商工会議所、地域住民代表等との懇話会1学期1回 3学期1回	A	A	・特に中学校教員との懇親を深める工夫をしてほしい。 ・年3～4回は必要ではないか。 意見を聞く時間をもう少し長く設定する。
		施設開放の申請受理100%	A	A	
		各任意団体からの学校に対するクレーム0件	A	A	
不適正経理0件	A	A			
ケ	生徒や職員が安心して過ごせる教育環境を整える。	月1回の巡回点検 職員研修年間4回 経営予算執行率98%	B	B	